

# G3エリアD7タンク転用に関する補足説明資料

2017年6月16日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

## ■ 漏えい防止策及び漏えい拡大防止策

- 洗浄で発生した底部に残る洗浄水及び残水の回収処理作業では、仮設ホース、仮設ポンプ、バキュームカーもしくは底部残水回収装置等を使ってタンク底部より洗浄水及び残水を回収し、他の貯槽へ移送した後、多核種除去設備等により処理する。当該作業を行う際の、漏えい防止策及び漏えい拡大防止策は以下の通り。
  - ✓ 漏えい防止策として、仮設ホースの継手部をカムロック式とし、さらに番線等で固縛して、継手の外れ防止を行う。
  - ✓ 漏えい拡大防止策として、仮設ホースの接続部に水受けを設けることにより、漏えい時に汚染水を受けられるようにした上で、残水または洗浄水移送中には作業員による常時監視を行う。

## ■ 洗浄作業時の汚染拡大防止策

- 汚染拡大防止策は以下の通り。
  - ✓ タンク内表面をできるだけ洗い流すことにより、放射性物質の飛散のリスクを低減する。
  - ✓ 局所排気装置を設置し、タンク下部のマンホールからタンク内部の空気をフィルタでろ過することにより、タンク上部のマンホールから放射性物質が飛散するリスクを抑制する。

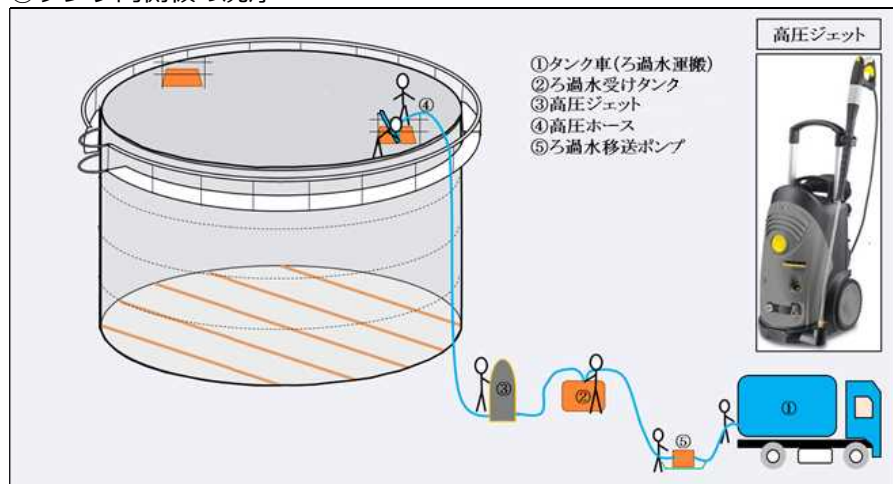
## ■ 作業員の被ばく低減

- 作業員の被ばく低減は以下の通り。
  - ✓ 洗浄作業中にダスト濃度が万が一上昇した場合に備えて、念のため全面マスクを着用する。
  - ✓ タンク内の処理では、底部残水回収装置を用いて可能な限り遠隔操作を行うことにより、被ばく低減を図る。

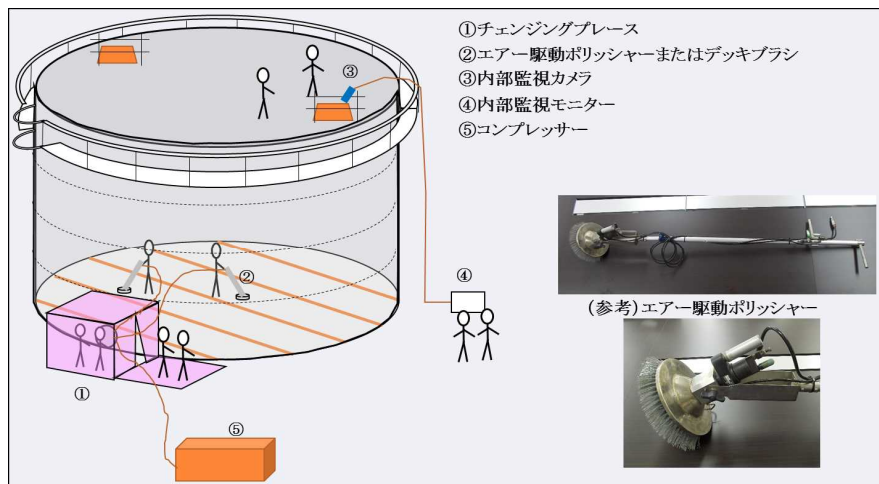
## 【参考】タンク内面洗浄の概要

- タンク内面の洗浄は事前に空間線量、ダスト濃度測定を実施し、作業が実施できる状態である事を確認してから洗浄作業を開始する。

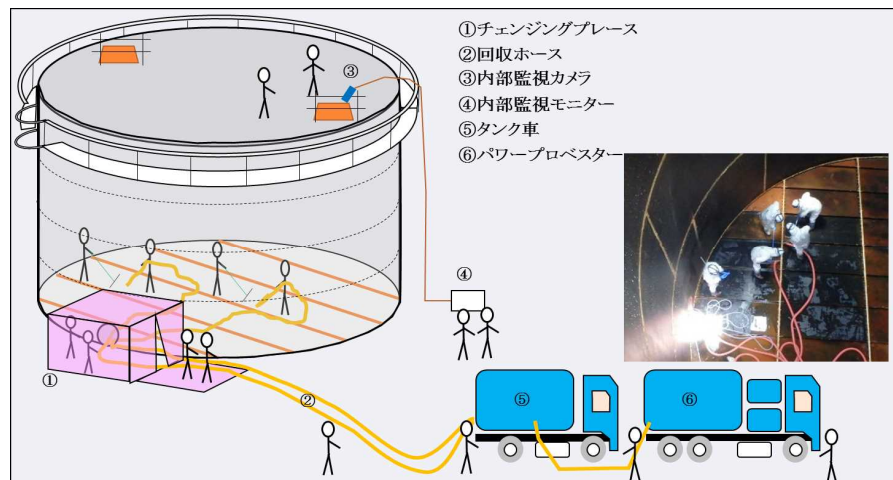
①タンク内側板の洗浄



②タンク内底板の洗浄



③タンク内クラッド及び残水の回収



④回収終了後、EエリアD1タンク、D2タンクへ移送

